

家庭学習の意義

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につける(習熟・定着を図る)ために、また、自ら学ぶ習慣(宿題から自主勉強)を身につけるためにとっても重要なものです。

小学生のうちに身につけた机に向かう習慣が、中学校や高校に進んでからの自ら学ぶ態度の育成につながります。今のうちに身につけるようにすることが大切です。

1 家庭学習のさせ方

- ①担任から出された「宿題」をまず最初にさせてください。
- ②時間が余ったら、「家庭学習の手引き」に示されている例の中から選んでさせてください。
(5, 6年生は自分で考えたことでも良いでしょう)
家庭学習用のノートを用意し、日付を書き、自分の足跡を残させることも継続の励みになります。ノートの点検は担任と相談し定期的にコメントを書いてあげてください。
- ③どうしても勉強に飽きてしまうような時には、読書や図鑑を見ることなど何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。(鉛筆を削る, 持ち物を揃える)

2 時間のめやす(宿題も含め)

- | | |
|----------|-------|
| ・ 1, 2年生 | 20分以上 |
| ・ 3, 4年生 | 40分以上 |
| ・ 5, 6年生 | 60分以上 |

これはあくまでも「めやす」なので、お子様の実情にあわせて設定してください。



3 家庭学習のポイント(保護者へのお願い)

- ① **学習時間の確保**
塾, ならいごと, スポーツなど, 子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが, 短い時間でも, 「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを, 家庭でよく話し合っ, 無理のないように時間設定してください。
- ② **学ぶための環境づくり**
たとえば, テレビをつけながら勉強をしても, 効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように, 各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。また自分の机に向かう習慣を身につけるためにいつも決まった場所でさせることも大切です。
- ③ **見届け・励まし**
子どもが学習したことにできるだけ目を通し, 声かけをお願いします。ほめたり, 励ましたりすることで, 子どもはどんどんやる気を出すものです。1週間に1回はコメント書いてあげたり, スタンプを押してあげたりする等の見届けをお願いします。また, お子さんの様子を把握しながら, できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。
- ④ **学校との連携**
家庭学習の内容, 方法等についてのご相談がありましたら, 担任へご連絡ください。
- ⑤ **学力アップは規則正しい生活から**
甲府市教育委員会から示されている, 以下の内容もご参考にしてください。